

令和 2 年 第 1 回

伊根町議会定例会会議録

令和 2 年 3 月 11 日（第 2 号）

伊 根 町 議 会

令和2年第1回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	令和2年 3月11日 水曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	令和2年 3月11日 9時26分			議長	上辻 亨	
	散会	令和2年 3月11日 13時53分			議長	上辻 亨	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	松山 義宗	○	6	大谷 功	○	
	2	佐戸 仁志	○	7	和田 義清	○	
	3	長谷川 貴之	○	8	濱野 茂樹	○	
	4	中嶋 章	○	9	上辻 亨	○	
5	山根 朝子	○	10				
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席 10名 欠席 0名
	町長	吉本 秀樹	○	住民生活課長	石野 靖	○	
	副町長	上山 富夫	○	保健福祉課長	須川 清広	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	石井 明博	○	
企画観光課長	千賀 和孝	○	会計管理者	増井 和彦	○		
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	千賀 さゆり	○	
会 議 録 署名議員	4番	中嶋 章		7番	和田 義清		
議事日程	別紙のとおり						
会議に付 した事件	別紙のとおり						
会議の経過	別紙のとおり						

令和2年 第1回 伊根町議会定例会

議事日程 (第2号)

令和2年3月11日(水)

午前 9時30分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第1号 令和2年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第2号 令和2年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第3号 令和2年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第4号 令和2年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第5号 令和2年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第6号 令和2年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第7号 令和2年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第8号 令和2年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 1 号 令和 2 年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第 2 号 令和 2 年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第 3 号 令和 2 年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第 4 号 令和 2 年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第 5 号 令和 2 年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第 6 号 令和 2 年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第 7 号 令和 2 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第 8 号 令和 2 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会 議 の 経 過

令和2年3月11日(水)
午 前 9時26分 開議

◎ 開議の宣言

○議長(上辻 亨君) 皆さん、おはようございます。

ちょっと若干早いようでありますが、本日3月11日は東日本を襲う大震災の日でもあります。今年で9年目を迎えました。多くの方が被災を受けられ、また多くの方がお亡くなりになられました方々に対しまして黙祷をささげたいというふうに思いますので、皆さんご起立いただきますよう、よろしく申し上げます。

黙祷。

お直りください。ありがとうございました。

それでは、議事のほうへ入りたいと思います。

去る3月6日に、令和2年度の当初予算について担当課長のほうからそれぞれ説明を受けました。皆さん十分に熟読されておられておると思いますので、本日の議事運営、活発な質疑をよろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員は全員です。

これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(上辻 亨君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

4番、中 嶋 議員

7番、和 田 議員を指名します。

以上の議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いいたします。

◎ 日程第2 議案第1号

○議長(上辻 亨君) 日程第2、議案第1号 令和2年度伊根町一般会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、5款労働費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、合計4区切りとして行いますので、よろしく申し上げます。

また、十分審議を尽くせるよう、令和2年度全会計予算議案の質疑の回数は事情が許す限り制限しないこととしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(上辻 亨君) 異議なしと認めます。令和2年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことを決定しました。十分な審議が尽くされることを期待します。

初めに、一般会計予算の歳入全般を対象として質疑を行います。

それでは、質疑を始めたいと思います。質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番(大谷 功君) 決算書の16、17ページの7款地方消費税交付金です。

昨年から10%に消費税が上がったわけなんですけど、今度の予算の計上が300万円ほど減額となっておりますけれども、この要因というのはどういうことなのか、ちょっとお聞かせください。

○議長(上辻 亨君) 鍵課長。

○総務課長(鍵 良平君) ただいま地方消費税交付金についてのご質問でございますが、以前、京都府内の消費動向、こういったものを本町で具体的に積算、勘案しておるわけではなく、京都府

からおおむねの見込み、積算方法等を通知を受けたもので積算しております関係で、申し訳ありませんが、京都府の中で自治振興課から通知を受けるわけでございますが、どのような積算内容かというところまでは詳細は承知しておりませんので、このような状況で計上させていただいております。全協の説明で申し上げましたとおり、譲与税交付金等につきましては、おおむね全てこのような形で計算させていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 予算書の19ページなのですが、滞在型体験観光まちづくり施設使用料ということで、この当初予算計上の使用料は、昨年3月に可決されました条例第6条第1項に規定されました金額を基に計上されているのか。

私のお聞きしますところ、予約サイトから予約した場合、条例で規定した金額よりも1円安い金額で使用できるというようなことをお聞きしております。たとえ1円でも公金であります。伊根町は1円損していることにはなりますが、なぜ条例に反した金額で予約を受けているのか。また、予約者には条例で制定された金額よりも1円安く宿泊できることは説明しているのか。1円でも公金であります。システム上という答弁では理解ができません。

現在の徴収方法を見直すべきではないのかということと、減免についてです。予約サイトと昨年3月可決しました母屋棟側ときわは、条例の制定金額より平日で最高1人6,000円、休前日で最高7,000円の減額となっております。料金を設定し、条例を制定したのは昨年3月で、7月にオープンし、8月には料金が減額となっているようです。この金額は、伊根地区の母屋ではない民間の2つの宿よりも安い設定となっております。民業を圧迫しないということではなかったでしょうか。

また、減免については、昨年3月の本条例制定の答弁で、「現在、特段こういう場合という想定はしておりませんが、減免も一応できるという規定を設けているというところですが」、「障害者割引を設けるという予定はないですが、災害が発生した場合とか、そういうことが想定されるかと思えます」と答弁されております。しかし、僅か1カ月足らずで、調査のための減免という形で全ての利用者に対し減免するのはあり得ないのではないかと思います。その施設使用料についてお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） まず、1点目のサイトとの関係ですけれども、議員おっしゃられましたとおり1円安くなります。それは消費税の関係でございますが、システム上というのは理由にならないというふうにおっしゃられましたが、申し訳ないんですが、システム上の都合ということで高くすることは絶対できないというところで、町長の裁量の減免という規定を用いまして、条例の金額より1円安い金額となっている箇所が確かにございます。

それから、ときわのほうは条例金額より安い金額となっている点につきましてですけれども、7月にオープンいたしまして、1カ月間予約状況を見ましたが、実際、予約が全く入りませんでした。その中で、観光協会と協議させていただいた中で、やはりちょっと高過ぎるんであろうと。舟屋棟のほうについては、条例金額は妥当であると思われまして、予約も多少なりあったんですけれども、ときわのほうは全くゼロという状況で、これが妥当な金額なのかどうか、そういうところをやはり調査するのも1つモデルとしての役割ではないかというところで町内の施設を見させていただいて、減免という形を用いました金額で予約を承っておるという状況です。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） そうすると、guriさんは、現在伊根町の金額よりも高い値段を設定されているように思うんですが、お二人で1泊3万円ですか。ところが、今の答弁だと1泊2人だと2万6,000円になると思うんですが、その辺、民業の圧迫はしないという、私も一番懸念をしていたんですけれども、民業を圧迫して、後発ですから、伊根町側がやったというのは。例えば萩・津和野、私たちが行ったときというのは、1棟貸しのそういうものがなかったというのがあって、それでも高い値段を設定されていました。

ところが、伊根町の場合は、民間が先行してやっているのを後でやって、そういうふうなノウハウを提供するというところで民間への圧迫はないですねというのを確認して、それはしませんと、高

い値段にしますということを行いながら、僅か1カ月。1カ月ぐらい様子を見て云々ということよりも、やっぱり1年間を見るとか、半年を見るとかという話なら分かるんですけども、何か1カ月予約がなくて、それも収益をどうしても上げなきゃいけないという目的でやったものではなくて、ノウハウを提供するというためにやったものですよ。

何かそのことが1つと、それを町長部局のほうで検討されて、うん、すぐにしようというふうに至った。どうしてそんなふうになったのかなというのがちょっと不思議なんですけれども、その辺をちょっとお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） そのノウハウの提供という中で、やはり適正な金額を見極めるといっても1つのノウハウかなと思っておりまして、確かに民業圧迫はしないというところの説明させていただきました。

g u r i さんにつきましては、確かにg u r i を下回る金額を設定させていただきましたが、実際、g u r i さんの宿泊をときわが取ったというふうには認識はしておりませんので、圧迫はしていないというふうには思っております。

1カ月、確かに1カ月の判断が早いのか、早過ぎるのかという点につきましても、半年、1年待って対応するというより、なるべく早めの調査をしたいという思いで、1カ月ではありますが、そういう判断をさせていただいたところです。

すみません、それから事業の取組につきましては、議員、民間さんが先発で伊根町のほうが後発というふうにおっしゃられましたが、一応伊根町のほうは、計画につきましてはそれ以前から取り組ませていただいております。施行状況、結果、オープンはg u r i さんのほうが早くなりましたが、事業の計画・着手については、町のほうが少し早かったのかなという認識をさせていただいております。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 町長部局の中では皆さんがもう合意されたということですか、いや、それはちょっとまずいんじゃないかなというふうな議論があったのか。これ、町長の特認になるんですか、減免というのは。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 町長が減免できるという規定を設けておりますので、その条項で減免をさせていただいたという判断です。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） そうですよ。少しは逃げ道というのは何でもあると思うんですけども、となると、民間さんのほうとしては、値段の設定を見直していかなくちゃいけないということになりかねないと思うんですね。

この金額のまま続けられるんですか。今、例えば金額を下げて、宿泊客が増えてきているのであれば、じゃ、もう若干上げてみようかとかという検討はなされているんですか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 調査をさせていただいた結果、この調査結果に基づいて条例金額の上程はさせていただきたいと思っております。それに併せまして、長谷川議員がおっしゃられましたシステム上の都合という点についても、改善をした上での条例提案をさせていただきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） そのシステムについても問題視していなかったということですか。消費税の関係上どうしようもない、どうしようもないで、そのまま今回のことが、長谷川議員がおっしゃったようなことが出ない限り、そのままずっと続けようというお考えだったのか。問題があるから、いずれは条例提案をして、こんなふうにしようという思いがあったのか、その辺をお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 条例提案をして改正させていただきたいとは思っておりましたが、

この状況を見極めた上で併せて条例提案にさせていただきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） じゃ、もう指摘がなければこのまま、我々議員として3月の議会で可決をさせていただいて、この金額でいくんだなと思ったことをオープンして、僅か1カ月でころっと変えてしまうというのは、もう我々の役目というのはほとんどないですよ。自由にその辺ができるということであれば、我々は何のために民業を圧迫しないでくださいねということをおっしゃることを皆さんが確認してやったということが、もうその議会というものというか、我々の役目というのは監視をする役目があって、それを全く知らされることなく、いつの間にか変わっていき。

どうなんでしょうね。議会で決まったことであれば、せめて条例の提案、今度こういうことをやりたいと思っているんでという話があってもいいのかなと思うんですが、どうですかね、その辺は

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 議会で承認いただいたことにすべからく基づいてやっております。現実には松山議員おっしゃるような民業圧迫になっているという事実がございます。

私、ないと思うんですね。いまだにときわのほうは、実験的にですけれども、ああいう値段に設定してやっております。現状を把握しております。でも、多分目標としました20%稼働かな。

24%稼働、これにも満ちていませんね。24%稼働していない状況で他の業者を圧迫しているということであれば、この業界終わりですね。民業圧迫はなっていません。

また、町長特認についてもその条例の中で認めていただいております。今言われたように、条例と離れたことに設定してやっておりますけれども、それについては後刻、この1年過ぎましてから正式に提案するか、元に戻すかは結論を出させていただきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 松山議員、よろしいですか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 非常に残念ですね。そういう民業圧迫をしていない。金額だけのことを言っているわけですが、民間さんよりも値段が安くなってしまいうのは、私は圧迫していることにつながっていると思うんですが、すばらしい施設があって、行政側もそのノウハウを公開して、一生懸命民間とともにやろうというのは分かるんですが、何かお金のかけ方一つにしても、それと、補助金を使っていらっしゃるところで目標を設定されて報告の義務があるのかなとも思うんですが、何でもそうですよね。補助金を使ったときというのは3年間は報告してくださいとか、設定された目標値にいついっているかどうかというのをつぶさに見られたりします。そういったところもあつたのか、なかったのかも推測でそんなことを言うてはいけません。私、guriさんの1万5,000円にされているというのが、金額的に圧迫をしているんじゃないかなというふうに感じました。

でも、町長がそこまでおっしゃって、残念ですね。残念というか、実はこんなことがありましてという話にならなくて、常に上から目線で見られて、全く反省だったり、そうか、こういうことかというのがないというのが非常に残念なのと、皆さん町長部局の中でその話が出たときに、いや、こういう方法もありますよねという方がいらっしゃらなかったというのは残念です。

以上です。

○議長（上辻 亨君） 休憩いたします。

休憩 9時49分

再開 10時00分

○議長（上辻 亨君） それでは、再開いたします。

質疑はありませんか。質疑がないようですが、これで、質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。皆さん、よろしいですか。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） はい。

次に、歳出1款議会費から4款衛生費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 39ページの職員研修費。

本年度より職員評価制度による減との説明を説明では受けました。会計年度任用制度創設の年度

であることを考えると、こうした任用職員に対する公務員倫理の研修等の充実が必要だと思えますが、全協でもいたしました、本会議でも改めて答弁をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま濱野議員からご質問いただきました会計年度任用職員に対する研修の実施でございますが、濱野議員がご質問の中で指摘されましたとおり、会計年度任用職員は地方公務員法の改正によって新たにつくり出された制度ではありますが、従来の非常勤職員等と同じように地方公務員法が適用になる職員でございます。

濱野議員の質問の中にありました公務員倫理、服務等の義務、こういったあたりのところは、一般職の職員として任期の定めない職員と同様の義務が課せられ、服務監督権者の下に執務に当たっていただく必要があります。こういったあたりのところをこれまでは任期の定めない職員、試験採用の、いわゆる常勤の職員、これらの職員に対しては、採用当初の1週間前後の期間を用いまして、服務以外の部分もなんでしょうけれども、研修を独自で行っております。この中で使っております公務員の義務、倫理規定、こういったあたりの内容を会計年度任用職員と任期の定めのない職員で違った部分があるような部分、営利企業の従事制限ですとか、こういった違いのところも含めて、こういうところは違いますよ、こういうところは全く同じですよ、こういう義務がありますよという内容の研修を本年といいますか、令和2年4月に採用と同時にさせていただき今計画を進めておるところでして、研修の材料についても内容を今検討しておるところでございます。

ご質問にありましたとおり、研修を実施する計画をしておりますのでご報告させていただきます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 用意したのを全てしていこうと思っておりますんで、連続になるかも分かりませんが、ご理解ください。

43ページ、情報発信事業、いわゆる「いねばん」でございます。

4月1日本格稼働に伴い、お知らせ版とメールマガジンが廃止となります。タブレットの配布実績と使用実績、今現在のテスト期間中の使用実績はどのようになっているのか、また3月中に全世帯に配布が本当に完了する見込みなのか、お聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） タブレットの配布状況です。1月の終わりから配布をさせていただいておまして、現在のところ、788世帯、85%の世帯に配布が完了しております。

使用状況につきましては、行政からの配信については防災無線と同様のものを配信させていただいておまして、端末側の状況というのは説明会で電源をまず入れさせていただいて、そのままお持ち帰りくださいという説明をさせていただいておりますので、そのまま持って帰っていただければ、電源は入った状態になっているかと思えます。役場の管理システムのほうで端末の使用状況というのが確認できることになっておまして、持ち帰られた端末が、例えば充電コードを差さずに充電切れになっているとか、電源が落とされているとか、そういう状況は把握できる仕掛けになっております。数台そういう端末があることも把握しておまして、電話等で「電源を」というお願いをさせていただいております。

3月末までに全ての端末が配布が完了するのかという質問ですが、本日もですが、業者のほうで各戸に回って配布をさせていただくこともやっております。それから、保健福祉課のほうと連携を取りまして、住民票は伊根町にあるだけけれども、実際に伊根町にはおられない世帯というのも把握しております。そういった世帯には多分配布は困難かなという状況はありますが、伊根町におられる世帯については、各戸世帯を回ってでも配布に努めたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 受け取り拒否というのは今の段階であるのかどうかと、あともう一つは、「いねばん」の本格稼働を控える中で、この設備を町民の頼りになる設備にするためには、各課の情報発信力が問われてくると思えます。

お知らせ版が終了となる中で、パブリシティマニュアルの整備と研修、そして担当課任せではなく、広報担当部署でも今まで以上の発信力のチェックが必要になってくると思えますが、どのように考えておられますか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） まず、受け取り拒否ですが、今のところお持ち帰られたのを返すという方はございません。返したいわという話をされる方はおりますが、実際返された方はございません。

それから、情報発信の発信力、今回のタブレットに合わせまして各課の専決事項のほうにこの発信の権限を移しております。ですが、議員おっしゃられますとおり、マニュアルについては整備をする予定にしております、それに合わせました研修なり、こういった形での配布という依頼というか、指示をさせていただいて、見やすい広報、情報発信となるよう努めていきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 続いて47ページ、地域公共交通確保維持費でございます。

コミュニティバスの無料化が昨年度に引き続き、本年度も実施されます。利用実績は微増程度でございますが、再生可能エネルギー導入可能性事業と併せて次年度以降の取組を本年度検討するという理解でよろしいでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 伊根バスに代わります地域内の交通の手段につきましては、再生可能エネルギー導入可能性調査の補助金獲得ができれば、その中で実施していきたいと考えております。

ドア・ツー・ドアの運行サービスと再生可能エネルギーを活用した車両と設備体制をどういった形で構築するかという点が課題かと思っております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ありがとうございます。

同じく47ページ、定住促進事業です。

令和元年度の平成31年度利用実績は、伊根地区1件、本庄地区0件という説明であったと思います。昨年度、現在、令和元年度の実績を踏まえ、要件緩和や金額とかそういったものを含めて、本年度利用実績を上げるために、どのような施策をする予定がもしあるのであれば、そうでなくて、昨年度一緒のことをそのままするんだというふうなのか、そのあたりの説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 平田お試し住宅につきましては、多数応募はいただいたんですけども、今年度につきましては、申込者の利用目的の確認と移住に対する思い入れなんかを確かめるために面談を実施させていただきました。それによりまして、面談してまで行かないわとか、魚釣りと思われるような利用については、こちらではじきましたので、実際に利用につながっていないということはありません。

本庄上お試し住宅につきましては、平田住宅で選考に漏れた方などにも案内はさせていただいたんですけども、実際、利用にはつながらなかったというところでございます。

令和2年度では福知山公立大のインターンシップやワーキングホリデーなど、仕事とセットした形での利用や店舗などの事業者さんに期間限定とはなりますが、借りてもらって就業対策とも兼ね合わせた利用などができないかなという検討をしたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 就業対策というのはチャレンジショップみたいな感じのイメージでよろしいんですか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） チャレンジショップではなしに、従業員の住むところがないということもあるので、取りあえずここで住んでもらって、その間に本当に住むところを探していただくというのもありかなと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 43ページの防災行政無線設備の管理運用費ですけども、戸別受信機を取り外し、撤去されるということなんですけれども、これ、個人のお宅のものを全てというふう

お聞きしたと思うんですが、どういう方法で、持ってきてもらうとか取りに行くとか、その辺をお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 戸別受信機の撤去につきましては、基本的には現在分別ごみの回収を行っている方法、分別ステーションのほうに籠を置きまして、そこに戸別受信機を入れてくださいという形を基本に考えておりますが、高齢者の世帯等、高いところに防災無線の受信機があったりする世帯については、連絡をいただければ、こちらのほうで取りまとめを行って、町内の電気事業者さんに依頼をし、取り外しをしていただこうと思っております。それから、屋根についております八木アンテナ等につきましては、当然住民の方で外すことは不可能ですので、それについては電気事業者さんに依頼をして撤去したいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 今の松山議員と同様、43ページの防災行政無線設備管理運用費なんですけど、この工事請負費、これが旧防災行政無線局の撤去ということだったんですが、この後で消防費、新しい無線局の設置に関連するかと思うんですけども、この工事請負費の撤去については、現在の無線局の支柱等を全部撤去するのか、それとも支柱は残して上の部分だけ使うとか、その辺のことはどういった感じで考えておられるのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 本節で計上させていただいています工事請負費は、役場内の操作卓、それから菅野の中継局の撤去、それから屋外子局につきましては、屋外子局の柱に乗っています設備の撤去を考えております。基本的に支柱は残したまま、新しく整備する防災無線の屋外スピーカーに使用させていただきたいと思っております。

ただ、設置からかなりの年数たっておりますので、中には更新をしないといけない支柱も出てくるかと予測をしております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 同じく43ページの情報発信事業なんですけれども、全協のほうで、広報伊根については、伊根町の顔の広報紙であるということなんで紙媒体で今後も続けていくというご説明受けました。それ以外も先ほど濱野議員のほうからもありましたけれども、情報発信にしましては、ごみの問題であるとか、様々な福祉関係は各課のほうからも積極的な情報発信が必要というふうにお聞きしましたけれども、この情報発信、伊根タブレットの導入によって紙媒体からこういうものに載せていってやっていくという方向性みたいなものはこの1年で、この予算付でどこまで考えておられるか、もし今の段階で分かるならお示し願いたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 企画のほうで所管しております広報伊根のお知らせ版、それからメーリングリストについては廃止をさせていただきます。各課のほうが区長さんを通じて配布させていただいているA4サイズのお知らせについても、できるだけこちらに移行させていただきたいと思っておりますが、中には、今までどおり紙のほうの方が便利だということと紙の媒体を残されるという判断をされる課もあるかと思えます。

ただ、行く行くはこういったものを整備したものですので、所管課としては、こっちに移行させていただきたいという希望はありますが、それは、やはり住民さんの利便性とも兼ね合いを考えながらということになるかと思えます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 45ページの普通財産管理費の中の土地購入費なんですけれども、これを購入された後の目的というのは何ですか。

○議長（上辻 亨君） 上山副町長。

○副町長（上山富夫君） 町長の冒頭の挨拶、初日の挨拶にもありましたが、伊根町では2軒の住宅を今保有しております。

ここの予算に上げておりますのは平田の住宅でございまして、現在、重伝建の物件にも該当しております。よって、今の形を残したまま有効活用という部分を考えておりますが、今年度1年か

けて伊根町が保有しております2軒の住居については、その活用方針については検討を進めていきたいという段階でございます。

さらに、今後の土地購入費用の計上についてですが、家屋につきましては無償で譲渡いただきました。また、家屋譲渡いただきました所有者の方からは、その底地が一部は譲渡いただきました方の持ち分。残りの土地については他の所有者であったということから、建物のあります部分についての土地の購入に向けて準備を、手続を進めていきたいという思いで計上させていただいております。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 分かりました。

ただ、購入されるからには、多分その目的といいますか、こんなふうに使っていきたいという思いがあつてのことだと思わなければならない、何も無いのに、譲渡してあげるからと言われて、ただでいただいて、土地が混じっているからというので、そこも一緒にということは理解できるんですけども、そこをどう使っていくのかというのが、もともと何かがあるから、それを求めたわけでしょうから、そのところをお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 休憩いたします。

休憩 10時21分

再開 10時24分

○議長（上辻 亨君） 再開いたします。

上山副町長。

○副町長（上山富夫君） 建物の使用用途ということでございますが、まだ検討中ということでございますので、具体的な内容については、今後さらに詰めをしていきたいというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありますか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 81ページ、放課後児童健全育成事業についてお聞きしたいと思います。

この説明の中では今年伊根のクラブが何人、本庄が何人という説明をいただかなかったと思うんですけども、これの申込み、今現在分かっている範囲での人数と、あと定員を教えてくださいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 定員につきましては、本庄放課後児童クラブが20名、伊根が23名でございます。また、現段階での申込み状況でございますが、通年が27で長期休暇が6ということで、33ということで、23に対しまして定員を現段階ではオーバーしているような状況でございます。

これを踏まえまして、何とか保護者の立場に立ちまして受入れをしていきたいというような思いで、現在使用している部屋に加えて、作法室等も含めた放課後児童クラブの開催ということにさせていただいて、面積をクリアして、定員のほうの変更がしたいというふうに考えて現在進めているところでございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 質問以上のことを答えていただきまして、用意していた次の質問がかぶりますけれども、ちょっとご容赦願いたいと思います。

厚労省の定めによる基準で占用区画の面積が児童1人について1.65m以上。恐らく今の基準で言うと、先ほどの定数から言うと、もう完全にキャパが足りてない状況。今回コロナの関係で学校の休校措置についてはご英断いただいたというふうに思っております。それは面積があるからという説明だったと思うんですけども、この放課後児童クラブ、本当に手狭となってきております。

新たな場所での開催含めて検討を早期に進めていただいて、場合によっては福祉センターの2階、最近では総会でも随分と各総会人数減ったようで、小さな部屋でもできるようになってきているような状況もありますので、ちょっと現状と併せて会場の確保をぜひともお願いしたいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 保護者のニーズに最大限対応できるように努力させていただきたいというふうに思っています。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） すみません。関連する形になると思うんですが、83ページの職員人件費。近年、保育士の不足の声を耳にしますが、保育士は今回もう確保できている、もう足りている状況なのかということをお聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 保育士の数の確保は大変困難な状況でありまして、追加でも募集をさせていただきまして、何とか今のところでは4月に開設できる状況になっているというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 大変毎年苦慮されているということをお聞きしております。先ほどのお試し住宅の中でも事業者の寮としての活用という答弁があったと思います。

寮や住居を確保していただいて、民間からの派遣、そういったものも視野に入れて、今後あらゆる確保策というのを講じて、ぜひとも町長の一丁目一番地の子育て支援の分で保育士が足りないから、人数が受けられないよという話にならないように、そういった不測の事態にも対応できることも検討すべきではないかと思えます。また、施設の統合であったりとか民間委託、そういったことも、長期的なビジョンも今後必要になってくるのではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 様々な方策を排除することなく、いろいろと検討していったら、ビジョンのほうを早急に立てていきたいというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 今のご質問の中で1点、本当にはっきり言って、もう朝の7時から晩の7時までいつ何時でも預けたかったら来てちょうだいねと、日曜日もやっていますよと、もう究極はそこまで本当にいきたいんですけども、それをやるために、どうしたらできるんだということを担当課ともいろいろと詰めさせてはいただいております。やっぱりマンパワーというのが一番大きいところでありましてね。

また、民間からのとか、民間委託という話があります、1点。これ、うちも大分考えているんですね。ありていに申し上げますと、宮津市の府中保育園ですかね。あれは、みねやま福祉会ですか、委託というか、もう民間委託ですね。なかなか評判いいんですね。じゃ、うちもできるかといいますと、できないんですね。なぜかという、うちが雇っている保育士さんいらっしゃいますね。宮津市だったら、ほかへ回せるんですけども、うちはやってしまっ、その職員を全部うちで今度職員ということで雇うかという、これまたちょっと難しい。そういうところがどうやったらクリアできるのか。逆に言ったら、皆さんが、じゃ、ええです、みんなやめます、すぐ職員になりますなんてことになれば、そら、簡単ですけども、その辺のやりくりなんかも、やっぱりいろいろ課題がありまして、また研究して詰めさせていただきたいと思えます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 51ページの再生可能エネルギー導入可能性調査事業についてお尋ねいたします。

7,700万円の予算計上されているんですけども、今後の町の目玉となるそういう施策につながるかと思うんですけども、循環型の社会を、地域を目指すという、そういう意味合いが込められていっていると思うんです。

特に温泉熱の利用、前回僕も質問させてもらったときに可能性を探ると、そういうふうに町長述べられているんですけども、温泉熱に関してはどういうふうにご利用を考慮されるのか、今後どういうふうな事業に発展するようなことを考えておられるのか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 温泉熱を活用したプロジェクトにつきましては、温泉熱を活用し

て陸上での水産養殖につなげられないかなという検討をしたいと思っております。温泉の熱がありますと、ヒートポンプを使いまして冷たい水、温かい水、どちらもつくることができますので、冷たい水で適する魚種、温かい水が適する魚種なんかをいろいろと検討しまして、高く売れる魚なり魚介類で何かできないか、漁業の水産事業者の所得向上につながるものがないかという検討していきたいと思っております。

その中には、当然、町内の水産の事業者さん、漁協さん、それから大学の研究機関やなんかと協力できないかという模索を次年度でしていきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） すみません、関連質問ですけれども、具体的に、例えば調査をされて、これ全部補助金で入ってくるという調査になるわけですけれども、後々これが温泉熱を活用すると、例えばですよ、調査も取れていないわけですけれども、なったときに設備云々というのは、またこれ、補助金をお考えなのか、町単費でされるのか、そういう補助金が出てくるまで待つのか、その辺とモビリティーにそれをどうつなげていくかというところをちょっとお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 設備導入につきましても、このエネ高と言われる補助金については、最高2億円まで10分の10の補助メニューがありますので、これ前段階、調査事業、それから、令和元年度・令和2年度の調査事業に基づいて実施する機器入れについても補助対象となるというふうに思っております。

モビリティーへの連携につきましては、温泉熱ではなく、太陽光のプロジェクトのほうでモビリティーを併せた検討、調査事業を来年度実施させていただきたいと思っております。具体的には公共施設の屋根で発電を行いまして、その余剰をモビリティーに回すことができないかという検討をしたいと思っております。具体的に、役場の屋根ですと、役場の中で消費する電気に全て変わってしまうわけなんですけれども、他の施設ですと、若干発電量のほうが上回る施設もございまして、そういったところに蓄電池を設けまして、そこからモビリティーのほうに活用するという機器の設備が導入できないかなというふうな計画を調査したいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 同じく再生可能エネルギーのところですが、旅費が20万円計上されていますが、これは先進地というか、そこを視察するのかなと思うんですけれども、何かどこか考えていらっしゃるんですか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 具体的な箇所はまだ想定をしておりませんが、できればそういう温泉熱の活用で先進地である海士町とか、そういったあたりの施設を見学できないかなというの思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 総務関係だと思うんですが、地域の要望がそれぞれ地区から要望があったと思うんですが、その中に伝馬小屋のトタンの張り替えというのがあったんですが、そのトタンの張り替えの予算というのはどこに当たるのか、ちょっと教えてください。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまのご質問いただきました伝馬小屋の屋根なんですけれども、平成元年度の伊根地区区長協議会さんの要望書の中で、特に日出地区さん中心に出された要望だったものなんですけれども、その要望をいただきます前の段階でも、前の年あるいは亀島区からもなんですけれども、あの建物を直してほしいというようなご要望をいただいたりしておりました。

もともとあの建物を買収といいますか、買わせていただいておりますけれども、その中で、中に入って、もともとの持ち主は漁業協同組合だったわけなんですけれども、その漁業協同組合から地元が借りておられた。借主がおる状態で建物を引き受けるというのは、なかなかちょっとどうだということで、元の持ち主である伊根漁協さんからは今貸しておるところには、もう持ち主が代わるので置けませんよというお知らせはさせていただいて、出ていっていただくという話の中で譲り受けたわけなんですけれども、その後強い要望をいただいて、次の目的が決まって何らかの形に変わるまで

の間だけでも継続して置かせていただけないかという要望に変わった経過がございます。

そんな中で、現在屋根に穴が空いておるんで直してくださいという要望だったわけなんですけれども、確かに木船が中にあります部分につきましては、屋根から雨漏りすると船の保存に問題が出てくることもあり得るので、今の穴が空いておりますところにつきましては早急に対処しますということで、本年度の既決予算の中で消耗品費等で何とか未執行で残りそうなものがあるところをかき集めるという言い方はちょっとよくないんですけども、もう直していただくように発注をしてございます。

ということで、年度内には屋根は、今の穴が空いておりますところの部分につきましては、直るようなことで今進めておるところでございます。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 大変よく分かりました。

ところが、やっぱり丹海さんのほうは、もう建物を建て替えてきれいになっています。あそこだけがどうしてもすごく目立つと思うんですね。風が吹くとトタンもばたばたしていて、通行人にけがなければいいと思うこともあるんですけども、どうにか、抜本的にはいかないでしょうけれども、土地購入も四百数十万円でされるわけですし、何かその辺、美しい村連合の会長になられたということですし、どうでしょうね。もう少しあそこを玄関口になるので、我々もちょっと通るたびに見苦しいなというふうに思うので、さらなる検討をしていただきたい。お願いごとをするとよくないんですが、その辺の見解はいかがですか。

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 今、企画の課長さんのほうに先ほどの平田の向井邸、それから今度購入に出しております、あれ、吉本邸ですか、そしてこの玄関口のこれはもう早くに計画を立てて、そして、もううまく過疎債狙えればいいんですけども、なかなかそうもいきませんので、毎年毎年補正予算債とかいって、いい経済体制が出るから計画をしっかり立てて、もういいお金のときに、さっとそれに乗ってやれるように頑張りたいなと思っております。一応あれも舟小屋でございますんで、やっぱり海から見た光景は、舟小屋のたたずまいは残しつつ、伝馬を収納できるように、また逆に言うたら、あんな大きなものは要りませんので、もうちょっとこじんまりしたものにして、後の土地を有効活用する、そういう考えでいきたいと思っております。

それでも、先ほど課長のほうから説明があったように、なかなかひどい話で、あれは町の持ち物でも何でもありません。皆さん各地区の持ち物なんです。それが入っていたものですから、借りて入っていた。町が漁協が替わるときに買わせていただいた。そのときにはもう大分危ないから出ていってちょうだいね。出ていってと言うたら、じゃ、伝馬小屋つくれとかね。こんなこと言っちゃあれですね。

そういう約束があったんです。町買いまっせ。危ないし、もう潰れるときにはもう出ていってもらいます。潰れたら、潰れたらじゃなくて、悪くなったら潰して、そのときは出ていってねという話だったんですけども、今度は直せですわね。なかなか難しいですね。すみません、ちょっと休憩中に言うたほうがよかったかな、ちょっとそういう状況です、はい。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 51ページの行政情報化推進事業の備品購入費の件なんですけれども、1,547万1,000円。

先日の説明の中にパソコンを毎年20台更新されているというふうにご説明ありまして、先日よその自治体でハードディスクの流出問題で個人情報の問題が問題になったと思うんですけども、万全のことはしておられると思うんですけども、廃棄に関してどういうふうな処置をされているのか。また、この金額なんですけれども、本年度は570万円ほど計上されて、来年度は1,500万円、大体3倍近くの金額。これはどういうふうなことでこの金額になっているのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） まず最初のハードディスクの処理の件です。

伊根町のほうも業者委託による処分をしておりますが、あの事件を受けまして、令和2年度の予

算でハードディスクの破砕機を購入する予定にしております。金額は10万円程度のもので、この中にハードディスクの破砕機を購入させていただき予定にしております。

それから、予算額につきましては、端末が20台で約670万円ぐらいを予定しております。それから、基幹システム等の印刷に使用しております高速カラーインクジェットプリンターの更新で約700万円の予算を計上させていただいております、その分が例年より増えているとなっております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 68、69ページの1項社会福祉費の災害時要配慮者支援事業の次ページの業務委託です。

35万2,000円は、これ、この中身についてお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 要配慮者の支援事業の委託費でございます。

これにつきましては、警報等が出ることが予測された場合、要配慮者を避難する必要がある場合がございます。その避難に当たりまして、長寿苑に受入れの委託費なり、要配慮者を移送する社協にお願いする部分の委託料等でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 45ページの財産管理費のところ、これは公共施設の個別施設計画策定事業ということで業務委託が459万8,000円計上されています。

施設の長寿命化を図るものということでしたけれども、これは町内の全ての公共施設の調査を令和2年度に行うんですか。それか、令和2年度は、こことここというふうにピックアップして重点的な施設を行って、また来年度はという感じで考えているんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 財産管理の業務委託費でございますね。この部分につきましては、地方公共団体の会計の決算結果を公会計4表と言われもので公表する義務があるものに対応するものでございまして、本町の通常の決算書の形から公会計4表をつくり出すための業務委託と、それと備品台帳、固定資産台帳、こういったものを過去にこの事業の委託料の中でつくったんですけれども、その時点修正を行っていく、この2つの内容を含めた業務委託でございます。

ですから、前年度の決算、議会の認定をいただく決算は9月議会で認定をしていただくわけですが、その認定を受けた決算書に基づいてその年内といいますか、9月に受けたのを3月末まで、今でいいますと、平成30年の決算を今月末までに公会計4表の形につくり直して公表するという、そういう作業を委託するものでございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 衛生費で、97ページの清掃対策費の中で、下のごみ減量化の推進活動補助金で10万円についておるんですけれども、これの対象団体教えていただけますか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） ごみ減量化推進活動団体の10万円ですけれども、数年前までは2団体ありましたが、今は1つの団体でありまして、天ぷら油の回収をされている団体への回収への助成をさせていただいております。

○議長（上辻 亨君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 私、今勘違いしておったんですけれども、作業所さんのリサイクルごみとかというのは、これはここには入っていないんですね。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 同じ事業、清掃対策費の報償金、資源ごみ集団回収として支払いさせていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 89ページ、保健衛生共通事務費の日本公衆衛生学会負担金。

これについて昨年度予算のほうはなかったように記憶しているんですが、新規加入かということと、あと、新規であれば加入目的とメリット、それをお聞かせいただきたい。

あと、もう一点が97ページ、宮津与謝環境組合負担金。

2年後人口割からごみ量割となりますが、その場合、現時点の伊根町のごみ量では伊根町の負担は増えることになるのか、また、その2年後に向けたごみ減量対策はどのように考えておられるのか、お聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 日本公衆衛生学会負担金でございます。

この負担金につきましては、伊根町で令和元年度実施しました事業につきまして研修会で発表します。そのときの研修会の負担金ということで計上させていただいております。伊根町の取組を全国に紹介するというところでメリットがあるというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 今後の宮津与謝環境組合負担金の問題だと思います。

現在人口割でしたら5%を若干切る人口になっております。それがごみ量になると、多くの事業所を抱えているところと比較すると、そんなに増えないのかなと1点思っております。ごみ量になった場合のほうが若干少なくなるのかなというところがあります。

ただ、現在、宮津清掃工場へごみの処理をお願いしているわけですが、そちらの場合は均等割というものも当然発生しております。均等割とごみ量割からしますとおおむね8%、今後は5%を切るであろうというところが1点大きなところかと思っております。

さらには、本町の場合可燃ごみと分別ごみ以外、いわゆる以前でしたら、埋立て処分していたような大型や不燃のごみは三重県のほうへ業務委託しております。そちらは、やはり運搬コストなどから考えましても、若干ごみの処理としては割高かなと感じておりました。それら全て含めていって将来どうなるのか。やはり大きく上がるようなら、何か対策を打つ必要もあろうかと思っておりますので、それらを含めても、今後この宮津与謝環境組合クリーンセンターは、今の宮津市清掃工場での処理費の倍程度かかると見込んでおります。それらを含めても、現状よりも上がらないかどうかのあたりとして今総額を見込んでおります。

ただ、この令和2年度予算に関しましては、宮津清掃工場への6月までの費用を払ったりなどがありますので、一概にこうなりますとは言いきれるものではありませんが、将来的にごみ量となった場合は今よりも大きく上がらないだろうと今見込んでおるところです。

○議長（上辻 亨君） ほかに。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ありがとうございます。

住民生活課長さんの説明はよく分かったんですけども、保健福祉課長、何の事業を発表するかも全く分からない。もう少し丁寧な説明をお願いできませんか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） すみません。失礼しました。令和元年度にSST、保育所でスペシャル・スキル・トレーニングの事業のほうをやりまして、その成果についての発表をこの学会のほうでやってほしいという依頼がありまして、その発表のほうを行わせていただくという予定をしております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 61ページの個人番号カード交付事業。

先日もちょっとお尋ねさせていただきましたけれども、まだまだ普及のほうが悪いように思っております。この事業の予算金額は今年度と比べてかなり、この間と重複するかと思うんですけども、3倍近くになっていると思うんです。前年度は46万6,000円。このマイナンバーカード、今現在使い勝手悪いというんですか、もう一つ使う用途が限られているみたいなことなんですけれども、来年から国民健康保険にも利用できる、地域の医療をよそで診療してもそれで受診できるというような、そういうシステムというふうに伝えられているんですけども、それ以外にどのような使い道というんですか、今後いろんな用途に、そういうふうに啓蒙のためにこの事業を実施されるのか。また、役場の職員さん率先して取得されていると思うんですけども、役場の職員の方はどのような普及率というんですか、その2点、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 計上金額が前年度に比べて大きく伸びておりますが、この金額につきましては、個人番号カードを集中管理する地方公共団体情報システム機構から通知のあった金額を上げております。現在、国のほうにおいて普及に努めておられますので、その機構からこの程度の見込みで予算を要求していただけないかという通知に基づいての計上であります。どこまでいきましても、個人さんの権利による申請かと思いますので、町が積極的にこの普及に努めているものではありませんし、町が自ら行っている事業ではありません。住民さんの申請に基づいてどのように交付していくかになります。

国としましては、いつからということがまだ明確ではありませんが、今調査があったものとしましてはポイントを付与する、また今議員言われましたように、健康保険も兼ねるといふようなふうで普及を努めておられるようですが、まだこうして明確に見えているものはございませんし、通知に基づく金額でありますことと、住民さんの申請に基づく交付でありますことを再度申し上げまして、答弁とさせていただきます。

○議長（上辻 亨君） ほかに。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 職員の方はどれぐらい取得、率先してされるべきやと思うんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 職員につきましても個人の権利でありますし、本町で申請できる方ばかりとは限りませんので、把握まではしていません。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 85ページの下段のほうの入場料9,000円と僅かですけれども、この入場料は何に対する入場料なんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 保育所管理運営費の入場料でございます。9,000円でございます。

この入場料につきましては、保育所で新たに体験を園児にさせていただくというようなことで、バスに乗って遠足をしたり、どこかの会場に入場をするということで施設への入場料というんで計上させていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 昨年度ですかね。作業療法士の何か子供の体がちょっとゆがんでいたりとか、ちょっと体力が、すみません、85ページだと思うんですけれども、そういうふうにあるので、作業療法士さんの何か指導があったと思うんですけれども、令和2年度の予算ではどこかにそれが反映されているんでしょうか、どこでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 83ページの報償費のほうで上げさせていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑は。2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） すみません。私、以前にも言ったような記憶があるんですが、庁舎の電気設備点検業務なんですが、36万5,000円。

伊根町は、これ以外にも伊根小学校、伊根中学校、本庄小学校、様々高圧受電をされている場所がありますが、与謝野町なんかは全て民間のといえますか、個人の電源業務を行う方がやっております。

伊根町は全て関西電気保安協会だと思いますが、値段がかなり安いはずですが、個人でやられている方のほうが。与謝野町は全部それに変更されています。伊根町はその辺を調べて変更とか考えていないかどうか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 増井会計管理者。

○会計管理者（増井和彦君） 佐戸議員の質問にお答えをさせていただきます。

数年前にその件につきましても検討させていただいたんですけれども、電気保安協会からも値下げ等も含めて提案がありまして、それについても十分内部でも協議をしたんですけれども、現在のところ保安協会でも保守点検等をさせていただいた経過がございます。

今後については、そういったところも含めて、一般事業者と契約も含めて検討していかなければならないかなというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 分かりました。

それは検討されたほうがいいと思いますが、電気料金については関西電力からということなんでしょうか。別にそれは調べるとか、そういうことなしで。

○議長（上辻 亨君） 増井会計管理者。

○会計管理者（増井和彦君） 電気料金につきましては、関西電力以外で各民間からもいろんな提案やら企画書等の提案があるんですけども、関西電力から特約をつけて大幅な値引きをさせていただきたいということで、そういったことも踏まえて、ほかの提示された民間の企業の金額ともさほど差がないということから、関西電力のほうで契約をさせていただいておる経過がございます。

○議長（上辻 亨君） 休憩しています。

休憩 11時05分

再開 11時07分

○議長（上辻 亨君） 再開いたします。

ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

休憩をいたします。今11時7分ですので、20分まで休憩をいたします。

休憩 11時07分

再開 11時19分

○議長（上辻 亨君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、5款労働費から8款土木費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 115ページの農林水産業費で全協でもお聞きしたんですけども、浦島漁港の河口の浚渫についてなんですけれども、この予算の積算根拠に当たり、恐らく近年の実績状況を勘案して予算を積算されたと思うんですけども、28年、29年の台風が頻発したときの実施状況とそのときの実績と30年、31年の実績予定が分かれば、それをお示しください。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 浦島漁港の浚渫の件です。全協でもお聞きをされておりましたので、回答いたします。

まず、28、29年につきましては、年間それぞれ4回実施をしております。実質1回当たり2日機械が動きまして、機械運搬が持ってきて持って帰って、これを合わせて28年度が運搬と2日分の作業で28万8000円、29年度が29万1,600円ということで、委託料につきましては、4回分でその4倍ということで112万3,000円と116万6,000円という結果となっております。

30年度につきましては、単価は同じですが、回数も4回と同じですが、土量が大きくて1回で4日間かかったものもありますので、その分の日数が増えた関係で、回数は変わりませんが、委託料としては126万9,000円と増えたという格好なっています。

今年度の予定ですが、現在5回実施しております。年度途中で消費税が変わった関係もありますが、8%のときでは機械の搬入搬出と作業2日間で33万4,800円。それが10月以降は34万1,000円という形になっておりますが、作業を3日間したこともございますので、日数にしますと合計12日間の作業ということになっておりますので、委託料は193万9,000円となっております。2年度につきましては、ただいま見積り調査中ですので、前年度の金額を参考に予算は計上させていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 103ページの住宅改修助成事業。

延長していただきまして今回が最終年度というふうな形であります。最終年度ということですので、引き続き延長するという事は、もう過疎債の関係見ても厳しいだろうというふうに思います。

「いねばん」や広報紙等を含めて、未利用者、利用されていない方に対する周知が必要だと思えますが、そのあたりどのようにお考えなのかということと、あと109ページ、有害鳥獣対策事業。メルマガの登録者数は33名ですが、先ほど広報の関係でも質問がありましたように、「いねばん」とのすみ分けを含めて、さらなる購読者数の増加が必要ではないかというふうに思います。

また、動物駆逐煙火保安教育講習を毎年受講されておりますが、追い払いの花火を使用した実績があるのか。せめて民家周辺にいる場合は、猿監視員が監視の際にこの花火を利用して追い払いができないのか、そのあたりお聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） それでは、3点ほど質問いただきましたので、まず、住宅改修助成でございます。

議員おっしゃるとおり、本年度最終年度ということで3年間期間延長しましたので、これで終了したいと考えております。全協でも説明しましたように、353世帯が昨年度まだ利用していただいているということで一定の効果があつたのかなと考えております。

しかしながら、議員おっしゃいますように、実際に今年度も、元年度もですが、実際に改修にかかってから補助金申請できないかという相談が1件ございました。なので、ちょっとそこは、かかった場所はもうできませんということでお断りしたこともありますので、ちょっと周知がまだまだ徹底できてないんじゃないかなと感じておりますので、例年でしたら年度当初の広報、それから区長会、それからホームページでお知らせをしておるんですが、今年度は、さらに「いねばん」も活用しまして、それから広報の周知も複数回増やして、最終年度ということを強調して申請漏れがないように努めてまいりたいと思っております。

次に、有害鳥獣のサルイチの関係の登録者数ですが、全協でも説明しましたように33名ということで、なかなか普及が進まないと思っております。

その中では、今のサルイチを今の「いねばん」と一緒にできないかということについては全協でも説明しましたように、サーバーが伊根町にありませんので、管理業者のほうに委託してやっておりますので、なかなかできないんですが、「いねばん」での表示を皆さんが見られるようにしていきたいということで今検討しているところでございます。

それから、あと動物の追い払い用の大きな花火の講習しないとできない花火の使用でございます。

実施隊員には必要な分は配るようにはしておりますが、町内を回っておる監視員につきましては、なるべくその人を見たら猿が逃げると困りますので、追い払いについては、捕獲檻に入ったときだけその方は使ってもらおうということで、伊根町を見回っておるときは一応ピストルは、ピストルという小さい花火は持っておるんですが、大きな音をするやつはなかなか使わないように心がけていただいております。できましたら、地域の実施隊の方、もしくは花火とかモデルガンの2分の1助成をしておりますので、地域の方で民家のところでは使っていただいたほうがありがたいなど。あまり大きな音をいきなり民家の近くでしますと、また逆に苦情もあつたりして難しいこともありますので、できたら追い払いは、地域を中心に、それから地域の実施隊をお願いしたいと考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 113ページの原木魚礁設置事業の件です。

前回の説明にモーター組合とあるんですけども、ちょっと僕、モーター組合、どういう性質なものか教えていただきたいのと、元口が6センチ、長さが3m以上の木材を沈設することなんです。これは朽ち果てるとか、今現在根づいて魚礁がもう育っていると、そういうことも考えられるのか、今後継続的にあと何年するとか、そういうことも考えておられるのか、その辺も併せてお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 原木魚礁です。

まず、モーター組合といえますのは、釣りはえ縄漁業を個人漁業でやっておられる方の組合でござ

ざいまして、伊根町には伊根モーター組合と蒲入モーター組合がございます。

主にこの人たちの釣りの漁場であるところ、アカアマダイとか、そういう魚場の付近で魚礁を設置して、そこに小魚を集めて、それを食べる釣りたいた魚を集めるという事業でございまして、この原木魚礁の沈設の耐用年数といいますか、もう1年から1年半では多分葉っぱも落ちて、枝だけになって、最後にはなくなるというものでございます。

ただし、魚を集める効果は高いということで、毎年度継続実施の要望をしていただいております。実施主体は京都府漁協となっております。京都府漁協がモーター組合に委託して、沈設しているという状況でございます。ですから、効果は高いということは、魚礁を設置した箇所と設置していない箇所での釣果調査もやっております。効果があることは京都府にも提出しておりますので、継続して実施していきたいと考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 123ページ、誘客対策事業。

平田バス停の移設工事ということで、この件については、事業者負担は設けないというふうに聞いております。なぜ設けないのかというのが1点。あと、現在の伊根バス停の課題。

これについては待合所がないということも1つの課題だろうというふうに思います。待合所については、他の地区で整備をという話を要望した際には、事業者がするものだというような答弁をいただいたと思うんですが、待合所について、この伊根バス停について事業者が整備する予定はあるのか。なければ、現在同様に、雨が降れば民家の軒先で雨宿りをするということが出てくるというふうに思うんですね。そのあたりについてお聞かせいただきたいというふうに思います。

あと、125ページ、駐車場管理運営費、七面山トイレの改修でございます。

改修計画、こちらを策定されることとなっておりますが、トイレの改修に当たっては、この場所は釣り客が大変多い場所です。釣り客対策も含めて検討を進めるべきだと思いますが、関係部署と連携したトイレ改修の検討があるのかどうかお聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） それでは、まずバス停の件です。

バス停につきましては、交通対策ではありますが、予算科目も誘客対策事業で計上させていただいております。今回の件につきましては、インバウンドを招く観光対策であると考えております。そのため、事業者への負担を求めるのではなく、京都府の補助金獲得を目指したいと思っております。

待合所についてなんですけれども、事業者が整備するというふうにおっしゃられたんですが、近年は事業者が整備しないというふうに言っております。しかし、今回につきましては、事業者さんの協議の中で、下は町が整備するので、建屋は事業者さんのほうで整備してほしいという協議をいたしまして、そういう調整が整っております。

次、駐車場のトイレの整備です。

おっしゃられるとおり、釣り人の利用も多いと思っております。把握もしています。一応釣り人のほうも駐車場の利用者ですが、これまでからトイレ内で釣った魚を調理したり、清掃用の蛇口から水をくまれたりということもあるというふうに確認をしておりますので、そういったことも十分配慮の上、設計に当たりたいというふうに思っております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 誘客対策事業について、この伊根バス停、いつぐらいに完成して、供用開始がどのぐらいになるのか、そのあたりが決まっておればお聞かせいただきたいというふうに思います。

駐車場管理運営費については、ぜひとも釣り客の関係で、私はこの場所は釣り施設にするのがいいのかなと思ったりもしているので、ぜひそういったトイレについてはビジョンを持って、ただ単にトイレを整備するのではなく、漁港施設も含めた検討をお願いしたいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） バス停の移設の時期につきましては、来年度設計施工の工期を考えますと、工事完了は、早くても3月末というふうに想定をしておりますので、バス停の移転につ

いては、それから地域公共交通会議への案件となる場合もありますので、令和3年4月以降になるものと予測をしております。

トイレの件につきましては、排除するという考えなのか、仲よくという考えなのか、いろいろありますので、その辺はじっくり検討させていただきたいと思えます。

○議長（上辻 亨君） 2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） すみません、同じく123ページの平田川上部の丹海バス停の移転の件なんですけど、永野邸から橋までの間をカルバートか何かで上部を埋めてしまうということでもいいんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 工法につきましては、C型水路という二次製品を用いまして、道路側の擁壁の一部を使いまして、C型の二次製品で。

コの字型の製品を使いまして、全く全部を埋めてしまうわけではないです。川の一部、概算設計では大体2m程度と思っておりますけれども、を蓋したい、蓋したいというか、やりたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） ということは、小学校側に隙間ができると思う。僕も消防団におりまして、大雨であそこが冠水した経験もございまして。上部から木の枝とか、そういうものがもし引っかかったりすると、永野さんところから上側にもしかしたら水があふれるようなことが起きなければというような懸念がございまして。

それと、私が思う範囲なんですけど、交差点の中にバスが止まるというような形状になるんではないかと思えます。道路交通法上、それが問題がないのか。

それともう一つ、あそこで道路上にバスが止まるということは、裏に車が詰まったり、降りた人が横断したりという危ないことが起きるんじゃないか。丹海の日出のバス停でもそういうようなことがよくあります、降りた方が飛び出してくるようなことが。私が思うに、町道なんで信号が少し向井邸側に移動ができれば、中央のラインを移設して、バスの横でもすっと通れるような格好をつくるほうがいいんじゃないかと思えますが、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 交差点内にバスが止まるのではないかとのご質問については、交差点から5m、横断歩道から5m離れた時点をバス停にするということなので、交差点内にバスが乗り降りのために停車することはないと思っておりますし、そういったことで公安委員会にバス事業者さんのほうから相談をさせていただいております。

それから、同じく信号の関係につきましても、公安委員会と協議していく中で、現在の道路線形は変えないということをおってほしいということを受けておりました、現在の道路形状を変えないということでバス停を移転させるなら協議していただけるというのが回答です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 127ページの観光総務管理費の中の業務委託料80万6,000円なんですけど、先日の全協の説明によりますと、ゴールデンウィークの臨時駐車場の管理ということでお聞きしたかと思うんですが、これは9月の連休等はどうのような対策になっておるのか。それ、含まれるのかどうか、その辺お聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） この80万6,000円につきましては、ゴールデンウィークの駐車場の管理と地域おこし協力隊の派遣に関する業務費を含めて80万6,000円となっております。

9月の連休の駐車場対策につきましては、現在のところ実施する予定はなく、ゴールデンウィークのみということで考えております。

○議長（上辻 亨君） 3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 昨年9月の連休に私もプライベートで七面山の駐車場を利用しました。伊根小学校の入り口から七面山までの間非常に混雑しておりました、観光客同士と地元住民、これ

はもめごとが起こっておる現状を見まして、やはり狭いところですので、ゴールデンウィークだけじゃなしに9月の連休等の対策も必要ではないかと思いますが、その辺、今後どのようにお考えか、お聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） ゴールデンウィークだけではなく、9月、それから11月の連休でそういったトラブルがあったことは承知しておりますが、なかなか交通整理員の費用というのも多額になる中で、とりあえず予算としてはゴールデンウィークのみを考えておるのが現状です。何か期間の長さとか考慮いたしまして、観光協会とも相談して、やるかやらないかも含めて検討させていただきたいと思います。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 関連質問なんですけれども、今年の5月の連休は5月2日土曜日から5月6日水曜日まで5連休で、7月と9月は今長谷川議員がおっしゃったように7月と9月の月で4連休なんです。

当初予算このままでいいとしまして、その辺の対策をちょっとまたその都度その都度、特に地域住民とのトラブル回避のため、また円滑な地域内の安心・安全な交通体制確保のために考えていただきたいと思うんですけれども、そのあたりをいかがお考えでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） ご意見をしっかり受け止めて、協会とも協議をさせていただきたいと思います。誠にありがとうございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 135ページ、町営住宅管理事業についてお聞かせ願います。

本坂住宅については、もうずっと空いている状況が続いております。恐らく使用料を積算するに当たっても、この分については入らないだろうなというような感じで計算されているのかなと思うんですが、今後の本坂住宅の居住者を確保するためへの対策、また先ほども申しましたけれども、臨時で来られる職員の寮として転用するか、また災害時発生住居等への転用とか、そういったこともいろいろと考えられると思うんですが、まず予算ですので、今年どうやって入居者を確保、本坂住宅にされるのか、お聞かせ願います。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 町営住宅の管理、主にずっと空き家がある本坂住宅の関係です。

議員おっしゃられるように、今8戸あるうちの5戸が空き家ということで、もう退去してからずっとその状態が続いております。

なかなかセールスみたいな格好はできませんので、ずっと公募をし続けておるわけですが、この住宅につきましては、耐用年数が古いほうがもう既に28年経過、新しいほうの4戸が24年経過ということで、活用よりもそろそろ改廃を検討していかなくてはならないかなという時期に来ております。伊根町の町営住宅全体を見ましても、平成元年が一番古いということですが、鉄筋構造物については耐用年数45年、木造については30年ということで、どれもまだ耐用年数には達していないんですが、住宅のほうも長寿命化計画というのがそろそろできている市町もありまして、伊根町もそろそろかからなくてははいけないかなと考えています。

そういった中で、今の町営住宅の課題といいますのは、早くした町営住宅については低所得者向けということで、なかなか入りたくても入れない方がおられるということで、所得の関係でどうしても断らざるを得ない。そうかといって、特公賃や定住促進住宅は空き家がないという状態ですので、この長寿命化計画に合わせて当然診断も行いますが、今後の将来計画も併せて改廃を含めて考えていきたいと思っております。その中で、もう低所得者向けの住宅は今の現存の範囲に抑えて、新たに定住促進住宅にシフトしていきたい、将来計画を立てていきたいなということで、今年度は課内の課題の一つとして、目標として、それに着手していこうという課題を上げたところでございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 低所得者向けということで本坂は入っていないのか、そもそも低所得者とし

でも入居希望がないのか、それについてお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） せんだっても単身住宅1戸の募集で3名ありました。ほかにも町営住宅、単身ですので、恐らく超えないだろうなということで空き家を紹介しましたが、ほかに住宅、空いているところを見せてくれということで何件かありましたが、なかなか本坂に案内すると、ちょっと地域的には奥の感じがするというので、該当者であつてもちょっと遠慮されているというところがございます。

募集については、募集要項で住宅ごとに要件が違いますので、本坂住宅は全て低所得者向けとなっております。

それから、先ほどの濱野議員の災害時とか緊急避難のときには、町長の特例で災害対応としては住んでいただけることができますので、例えば伊根で火事があって住めなくなった場合でも一定の期間住んでいただくという特認事項がありますので、その災害に関連しては運営は、まだしやすいほうかなと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。

休憩をいたします。午後の再開は1時からよろしくお願いいたします。

休憩 1 1時47分

再開 1 2時59分

○議長（上辻 亨君） 再開いたします。

休憩前に引き続き会議を開きます。

最後に、9款消防費から14款予備費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 153ページ、小学校教育振興費。

スキー教室リフト代が計上されておりますが、他県の施設を利用する場合、移動も相当な時間を要することになります。少し調べたところによりますと、一番近くても伊根町から60キロ、約2時間で神鍋スキー場が最寄りという形になろうと思います。そうすると、児童の身体だったり、体力的なバスの移動時間の問題が危惧されますが、このリフト代については、どちらのスキー場で、どの学年を対象とした教室を検討しているのか、説明求めます。

○議長（上辻 亨君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） まず、スキー場なんですけれども、神鍋スキー場を予定しております。対象の学年につきましては、4年生以上で計画しております。

リフト代については指導員のリフト代です。子供のリフト代につきましては、スイス村に行っている時代から保護者の負担でこの事業は実施しております。

体力的な面も配慮しながら実施したいと考えておりますが、やっぱり移動時間が多いので、現地にいる時間は、スイス村に行っていたときよりも少なくなるのはやむを得ないかなと考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 往復4時間ですよ。そこで運動されて帰ってこられて、これ、保護者を含め、先生含めて、この事業を本当にしないといけないのかどうか、私、ちょっと危惧しているんですよ。今年はたまたま雪がなくて、神鍋スキー場についても営業日数が例年に比べると大幅に縮小されたと思います。来年もしこの状態が続けば、そういったことも、日程的な問題も危惧されます。本当にすべきなのかどうか、何のためにこの事業が要するのか、説明をお願いしたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 石野教育長。

○教育長（石野 渡君） スキーの指導につきましては、学習指導要領には今のところないものであります。

ただ、雪上の訓練、トレーニング等々についてはあります。雪がたくさん降る場合にはグラウンドで板を履いて走行するというようなことをやっております。そうすることによって、冬場の運動量の確保ということにもつながっております。ただ、この丹後半島一円は雪の降る場所でございます。そういうときに、やはりフルシーズンを通していろんなスポーツに親しむということが大きな狙いになります。という意味で、一日だけなんですけれども、予備日を入れると2日間なんですけれども、一応予定はしております。その中で、体育的な目的として体力の強化等々について行うということとスポーツを親しむという2点が目標としてあります。

それで、次の2点目は、じゃ、2時間かけてどうするんだという話だったと思います。ただ、2時間なんですけど、この間、何年か3年ほどはずっとこの検討を続けておまして、一応2時間なら大丈夫やろうというように教育委員会としては判断をしております。

それから、3点目の、じゃ、そのことが子供や保護者、どうなんだということでございますが、子供たちは特に何も言っておりません。それから、保護者についても今のところはありません。教員のほうがやはり心配をしております。そういうことは事実であります。対応しながら、配慮しながら、いきたいなというようには思っているところであります。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 実施に当たっては、しっかりと意見を聞いていただいて、教育委員会だけの判断ではなく、様々なところの意見を反映して検討していただきたいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 関連なんですけれども、今お考えになっているスケジュールですね。例えば朝6時に出てとか、7時に出てとか、何時に向こうに着いて、昼食を取っていく、何分間休憩をして、何時間滑って、何時にバスに乗って、こっちへ帰ってくるというそのスケジュール、簡単なものが分かればちょっとお教えてください。

○議長（上辻 亨君） 石野教育長。

○教育長（石野 渡君） これまでの例でありますと、行った場所というのは大江山スキー場、それから碓高原、そしてスイス村、それから神鍋というのがございます。

その中で一応内容的には、午前中に1コマ、午後に1コマということで、大体9時半頃から始めて、そして1時間ちょっと活動します。その間休憩は45分ぐらい1単位でありますので、それを見て10分程度小屋に帰ってきて暖をとると、トイレをするということで、昼食は1時間。カレーライスを食べしております。ほとんど5分から10分でもう済んでしまって、あとは雪上で遊んでいるということで、1時頃から再開して2時半に終わると。そして30分ほどかけて3時頃には終了して、3時過ぎから3時半頃には帰宅にかかるということでもあります。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 教育費の161ページ、ちょっと基本的なところで教えていただきたいんですけれども、学校支援地域本部事業のところ、地域コーディネーターのところ、補償金76万6,000円計上されておりますけれども、昨年の実績も踏まえて、地域コーディネーター、人数とかスケジュールとか、業務内容がもし分かれば簡単にお示ししたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 石野教育長。

○教育長（石野 渡君） それでは、1名雇っております。今のところは女性を雇っておるところです。それで、地域コーディネーターとしまして地域の連携、それから小中学校の連携を行っております。

内容的には、読み聞かせ、あるいは3校の施設設備の管理、要するに草刈りとか、そういうもろもろの用務員さんと一緒になって取組をしています。これには約60名ほどの公募いうんですか、地域の方の協力者がおまして、そこから10人ぐらいが一回には出てくられて、草刈りとかいろんなことに関わってくれております。それから、先ほど言いました読み聞かせも行っておりまして、これは小学校になるわけなんですけれども、そういうようなことを取組ながら行っておるところです。

ただ、実績、細かい実績につきましては、実は今年度12月頃からちょっと体調不良になりました、何か不明の病気なようですが、親元に帰っております、今のところ二、三カ月ぐらいになる

んですか、3カ月に足かけなるんですが、今のところ活動ができておりませんというのが以上です。

○議長（上辻 亨君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 今回のこの予算計上は、今その方はちょっとご静養されているということなんですけれども、引き続きその方でやっていただくというご意向でしょうか。

○議長（上辻 亨君） 石野教育長。

○教育長（石野 渡君） 本人さんと連絡を取りながらやっておるんですが、一応できんのかなと、できないであろうというように予想しております。

それで、また次に公募をかけていかなんということ、来年度の5月、6月頃からスタートする、要するに運動会の前から動いてくるということですので、1カ月半ほどありますので、公募をかけたいなというには思っているところです。もし本人がやりますということであればお願いしたいなと。若いですし、伊根町が好きだということで受けておりますので、そのような状況です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 今回、学校ICT環境整備事業をされるんですけれども、この中にシステムの導入によって教職員の負担軽減が図られるということなんですけれども、どのような軽減が図られるのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） まず、今回整備いたしますのは電子黒板。電子黒板は、今の黒板に向けて天井から映写をして、黒板に映し出すプロジェクターです。それを導入することで、電子コンテンツを表示したりだとか、あと板書というて、チョークで書く作業も映写することで省略をしたりだとか、マスキングといいますか、問題を出して、黒くしておいて、ここは何が入りますかというような表示をして、あと答えを後で表示したりとか、いろんな使い方ができると思っております。授業を準備する段階でそういうものを活用できるので、一度つくってしまえば、また再利用できるものとなりますので、そういう意味で先生の負担も減ると考えております。

あともう一つ、校務支援システムを導入します。こちらは、生徒の出席だとか、あと授業の計画をシステム上でつくって管理できるものでして、これは事務の効率化につながると考えております。通知簿についてもシステムから出力します。そういうようなものも生徒の名簿も管理をして、出席状況もそこで入力できますので、関連する書類がシステムでできるため事務の効率化ができて、先生の負担が減るということです。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書163ページの伝統的建造物群保存事業についてお伺いします。

歳入のところでもちょっとお伺いしようと思ったんですけれども、今年12件計上で、昨年からは、068万円減ということで、交付金のほうもかなり減にはなっておるんですけれども、今回は国の補助金が減ったということで、その減った枠の中で専門家の先生入れられてやっておるのは存じておるわけなんですけれども、12件というふうになっておるんですけれども、減っておる中で12件になったのか、12件に基づいて減らされたのか。大体毎年4,000万円ぐらいですか、いただいて、重伝建の整備をしていただいていると思うんですけれども、そのあたり、もし分かる範囲でお聞かせ願えればと思うんですが。

○議長（上辻 亨君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 昨年度は15件申請があって、そのうち10件を対象としまして昨年度の予算があるんですけれども、今年度、今年度といいますか、令和2年度については12件で、12件足し合わせた金額がこちらの額となっております。例年に比べて1件ずつの修繕内容が小さいものが多くてこういう形になりましたので、申請に基づいた件数です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 149ページなんです、旧朝妻小学校の管理費は上がっているんですけれども、旧の本庄中学校の管理費というのは、もう全くなしということではよろしいのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 旧本庄中学校の管理費については、科目の見直しを行いまして、事務局費に計上しておりますので、そこにございます草刈り業務だけになりますので、その事業を本庄

中学校管理費で草刈りという物すごく小さなものになるので事務局費に移行して、こちらで執行します。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 137ページの宮津与謝消防組合費なんですが、今年は橋北分署の救急車の入替えがあるというふうにお聞きしました。最終日でしたか、お見せするというのも聞いております。

今テレビなんかでばんばん走っているウイルスの対応ができる外と中の気圧が違うような救急車が来たらしいなと思うんですが、どのような内容の救急車が来るか、お教え願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 令和2年度予算で橋北分署の救急車の更新事業を計上しております部分は、従来型の高規格救急車で、ちょっとその車内車外の圧力差を設けることができるような装置がついているかどうかというところまでは今すぐにはお答えできないんですが、恐らく今までのものに装備されてないので、今までの考え方で今の事業計画は上げておるんだろうというふう考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第3 議案第2号

○議長（上辻 亨君） 日程第3、議案第2号 令和2年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を一区切り、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算一区切りとし、合計2区切りとして行いますので、よろしくをお願いします。

それでは、初めに国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 本庄診療所勘定の238、239ページの医薬品衛生材料費です。

昨年度より、これ、354万9,000円増加になっておるわけですが、ちょっと聞き逃しておるかも分かりませんが、この要因についてお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 本庄診療所勘定の医薬品衛生材料費の増額要因ということですが、本来でしたら、こういった医療行為をするから、こういった医薬品が要ることによって歳入もこのように見込めるというのが本来あるべき姿であろうと思うんですが、本町の場合、予算編成するときに前の年の利用実績から入ってくるであろう収入がこの程度だった。かかった医療費もこの程度で、伸びなどを推計しながらの予算計上としておりますので、令和元年度中に医薬品衛生材料費はかなり支出が多くなりましたので、その流れをくんでこのように増額とさせてもらったところなんです。

増額になった要因としましては、医師に変更がありましたので、使われる薬が変わったということが大きな要因かとは思いますが、過去の半年、8カ月程度の執行の状況を見ての予算計上とさせていただきます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、質疑終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第4 議案第3号

○議長（上辻 亨君） 日程第4、議案第3号 令和2年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 256、257ページの簡易水道改良費です。

今年度工事請負費で送水管の大原から大浦の布設替えが入っておるわけですが、京都府下中、今話にも出ております水道料の値上げの関係で、結構大きな値上げの市町村あると思うんです。多分これらは送水管も大変古くなっておって、それを換えていかなんというような要因があると思うんですが、伊根町の場合、送水管の新しさとか、古さとかというのは大体把握しておられて、今後の布設替えの検討というか、計画を立てられておりますか。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今年度計上しております改良費につきましては、漁港の環境整備事業で水産飲雑用水整備事業で行ったものを対象として長寿命化を行うものでございます。また、それと関連して、長寿命化事業にはならないですけれども、古い管を耐震化することで改良費として同じ補助率で受けられるということで、六万部から朝妻を通して大浦までの布設替えを行うものと、それから蒲入での施設の修繕が必要な箇所をすることで行っております。基本的に水道管については、塩ビ管が主なものですが、これについては耐用年数40年度言われておりますので、ちょうどいい時期に来たのかなと思っております。また、山の中とか、どこに通っておるか分からない箇所もあるので、この長寿命化事業を使って新しいちゃんど道のあるところに布設替えをするということですのでございます。普通の厚生労働省の水道の補助事業でいくと、せいぜい国庫で20から25%補助が最大ぐらいということです。しかし、この事業につきましては、京都府と合わせて65%の補助事業ですので、かなりその辺でも経費的にも楽にできるかなと思っております。

それ以外の施設については、一部寺領など古いところはありますが、そのほか伊根中央、それから筒川南とかは比較的新しいので、まだまだ年数的には、大分布設替えの時期はまだまだ先かなと考えております。

○議長（上辻 亨君） 休憩いたします。

休憩 13時26分

再開 13時27分

○議長（上辻 亨君） それでは、再開いたします。

白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） すみません。料金の値上げの話がございましたが、今のところ、その辺であまり財源的なダメージはないのかなと思っておりますので、当面は値上げのことは考えておりません。

ただし、2年に1回の水道審議会により経営状況をしっかりと報告して、皆様の意見を聞きたいとは考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第4号

○議長（上辻 亨君） 日程第5、議案第4号 令和2年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第6 議案第5号

○議長（上辻 亨君） 日程第6、議案第5号 令和2年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第7 議案第6号

○議長（上辻 亨君） 日程第7、議案第6号 令和2年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 298ページ、介護保険料の普通徴収の割合が令和2年度一気に増えます。6月から10月に分けての納付する普通徴収の割合でございますけれども、口座振替納付をはじめとする収納対策が必要になってくると思いますが、口座振替納付含めた収納対策の進捗状況、お考えをお示しいただきたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 口座振替に特別徴収から普通徴収に変わるということで、現在10月以降、普通徴収に変わっているわけなんですけれども、以前70件の普通納付でしたのが特別徴収から普通徴収に変わったということで、12月段階で396件が普通徴収のほうに変わっております。

その対策としましては、納付書発行時に口座振替の依頼書のほうも同封させていただきまして、口座振替のほうの手続を進めております。もともと介護保険の口座振替にやっておられた方もいたのですが、10月から現在までの間に41件の方が新たに口座振替の手続をされております。最新の数字で納付書による納付される方は24件ということになっております。それにつきましても、また必ずしも今回の制度で普通徴収になったわけじゃないんですけれども、今回から年金が始まった方も普通徴収になりますので、改めまして、また勧誘のほうは進めていきたいというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 負担の公平性の観点からもしっかりと未納のないように、大変だと思いますけれども、努力のほうをお願いしたいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第8 議案第7号

○議長（上辻 亨君） 日程第8、議案第7号 令和2年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第9 議案第8号

○議長（上辻 亨君） 日程第9、議案第8号 令和2年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、令和2年度伊根町一般会計予算及び7特別会計予算の全ての質疑が終わりました。

全てを通して何か質疑がありましたら、これを受けることとします。質疑はございませんか。
2番、佐戸議員。

○2番(佐戸仁志君) 41ページの庁舎の管理費なんですけど、2階のフロアにエアコンをつけるということをお伺いしましたが、庁舎のエアコン自体、設置年数がたっていますんで、ぼちぼち全体が駄目になっていくような時期だと思いますが、そちらのほうのお考えはどうなんでしょうか。

○議長(上辻 亨君) 増井会計管理者。

○会計管理者(増井和彦君) 佐戸議員の質問にお答えをさせていただきます。

昨年、一昨年と非常にエアコンの故障が続いております。そういった加減で令和2年度において2階の災害対策用のエアコンを別系統で設置させていただきますが、今佐戸議員が言われましたような一体型のパッケージエアコンにつきましても随時故障が今年も出る可能性がございますが、まだもう少し様子を見ながら、昨年も修理をしたところがございますので、経過を見ながらもう少し使えるものは使っていきたいというふうに考えております。

○議長(上辻 亨君) ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番(中嶋 章君) 先ほどもちょっと質問させてもらった関連なんですけれども、学校ICT環境整備事業でこの電子黒板とかで他校、ほかの伊根町以外の学校との交流授業というんですか、そういうなんは、ちょっと飛躍するかも分からないんですけれども、そういうことも今後可能になって、ますます教育のほうが活発になるのか、その辺はいかがでしょうか。

○議長(上辻 亨君) 石野教育長。

○教育長(石野 渡君) 情報教育につきましては、遠隔操作ということで今おっしゃられましたような他地域との、あるいは北海道だとか、同じ僻地を持っている、そういったところとの交流は可能であります。そのことに通していろんな地域のことを社会科、特に小学校の3・4年生、そして5・6年生、そして中学校の1年生、2年生、3年生、これで全部で3年生から考えると7学年が使うことは可能であります。生徒会だとか授業だけではなく、交流ができるかと思っております。そういう意味で、情報の活用は非常に豊かになり、そのことによって教育内容も豊かになるというようには推測しております。まだ、現在のところ具体的な計画はしておりません。

○議長(上辻 亨君) ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番(濱野茂樹君) 173ページ、職員定数についてお伺いいたします。

会計年度任用職員制度ができて、この任用職員の人数が適正かどうかというのがいまいちよく分からないんですね。

例えばラスパイレス指数とかでいいますと、類似団体と比べるような指数が用いられております。そういった指標というものがあるのかなのか、また、今、近年業務のほうがかような方に頼らないといけない業務が増えてきているのかどうか、そのあたりをお聞かせいただきたいと思っております。

○議長(上辻 亨君) 鍵課長。

○総務課長(鍵 良平君) 職員定数について似たような団体と比較する指標があるのかというご質問に対しては、類団比較ということを経済省のほうでされておられるということはあるように聞かせていただいておりますし、決算の中で、あるいは職員の定員管理調査の中で総務関係の職員が平均的に何名ぐらい、このぐらいの職員規模でしたら、このぐらいというような数値はあるんですけれども、総務関係、税務関係ということになりますと、標準的なところではありますが、例えば福祉関係というようなところでいきますと、本町は、実はその部分は同程度の規模、同程度の産業分類、そういったようなところと比較すると若干多いという結果になっております。そういったあたりは、もう議員の皆さんもご承知のとおり、保育園の数によって保育士を配置しております。例えば3歳児、4歳児のところでは1人当たりの保育士が担当できる子供さんの数が上限までは全然いないけれども、保育園が2つあるので、それぞれに1名ずつ置くというような状況にもなっております。こういったあたりから本町の場合は多くなっていると。

その話の延長線上に、そういった場合に会計年度任用職員さんをお願いして、職員の中に業務を回していただくと。職員定数を比較する場合には会計年度任用職員、非常勤職員は含めないという扱いでございますので、ここのところは職員定数の比較には入っておりませんが、伊根町も会計年度任用職員非常に多いんですが、任期の定めのない常勤の職員と今後会計年度任用職員となる職

員数の比率でいいますと、伊根町の場合はこの中で説明も申し上げましたように、会計年度任用職員の方がここに上げておる人数が多いという実態がございます。府内の各団体で正式な公表はまだされておりませんが、どのような状況なのか担当者間でお話を聞かせていただくような機会にお伺いしますと、やはりこういったように常勤職員も多くなりそうだというような声も聞かせていただいております。こういったところも踏まえて、業務の在り方とか見直し等も含めて、今後十分に周りの状況も聞かせていただいて、調査も進めながら考えていかなければならないところだというふうには考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ありがとうございます。音声認識ソフトであったり、文章要約ソフト、またAI、IoT、様々なことをいろんな自治体がこういったものを活用していこうということを進めておられます。

伊根町においてもこういったものを検討していく、もう時期に来ているんだろうなというふうに思いますので、ぜひとも先ほどの答弁含めてご検討のほうお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 28、29ページの基金繰入金のところでは財政調整基金について考え方を伺います。

財調につきましては、現在のところ、恐らく3億、それから減債基金が約7億円ぐらいあるのかなというふうに思っております、それでこの次年度予算を引きますと財調が2億円、それから減債基金が5億円ぐらいになると思います。これに積立てがあるので正確な金額ではないと思いますけれども、減債基金については、これからの財政に影響してくる慢性的な薬であるのかなというふうに思っております。それから、財政調整基金については急性病の薬、何か突然の病気になったときとかの病気に例えると、そういう特徴があるのかなというふうに思っておりますが、最近の財政調整基金と減債基金のバランスを見ておきますと、減債基金のほうの方が今までになく多いと、財政調整基金のほうが少ない。

最近の災害が増えたり、いろんな状況を考えておきますと財政調整基金の金額が少ないと、バランス的に少ないというふうには私は考えるんですが、町としてのここらのバランスの考えというのがありましたらお聞かせください。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご質問いただきました財政調整基金と減債基金のバランス、そういったものについての考え方でございますが、確かに今議員がご質問の中でおっしゃいましたとおり、財政調整基金については不測の事態、災害の発生等に対応する必要もあって一定金額が必要かというふうには考えております。私もいつの段階で答弁させていただいたかはちょっと記憶は定かではないんですが、6億円、7億円ぐらいがあってもいいんじゃないかというふうには思ったりもしておりますというようなことを回答させていただいたこともあったと思うんですけども、実は減債基金を積立て開始させていただきましたときは、伊根地区の漁業集落環境整備事業を開始するに当たって、財政シミュレーションを議会全協でお示しをさせていただいたことがあったと思います。その際には、料金収入の見込みあるいは交付税算入の見込み、そういったものも踏まえた中で、一定規模の赤字に対する繰り出しが一般会計から必要になる見込みですという説明をさせていただきました。それに対応するものとして必要な金額の減債基金の積立てをする、そういうことを考えた上で、事業の実施ということで進めさせていただいたというふうに記憶しております。

そんな中で減債基金を順調に積み立てていくことができました。財政健全化法によりまして、各指標があるんですけども、実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、こういったような比率の中で一番最初の年、公表すべき年の一番最初の年だけが将来負担比率が出たんですけども、その後ゼロになりましたということをお知らせさせていただいております、それはひとえに財政調整基金と減債基金の積立てが効果を奏しておるというふうには考えております。

そんな中で減債基金が増えてきておって、バランス的に財政調整基金がというのは、何回か説明させていただいております中で、災害を受けたときに災害復旧事業を計上するわけですが、国庫負担による災害復旧が該当にならない部分については、町単費で災害復旧工事をやらなければならない部

分がありまして、29年、30年と2年連続で1億円を超える取崩しをさせていただいたというような経過もあり、そういった事情で財政調整基金が大きく減少になったという経過でございます。

今後、減債基金につきましては、目標としておりますその当時全協でお示しをさせていただきました赤字繰り出しが見込まれます額、それを30年間でこのぐらいの額ですという説明させていただいた金額を超えておりますので、そういう理由で将来負担比率が出ていないわけでございます。そういう中で、今後減債基金は必死になってためるものでは、今の財政状況ではないのかなというふうに考えておるところでございます。

一方で、財政調整基金は、ご指摘のとおり不測の事態に備える必要がありますので、今後については財政事情も勘案しながら、財政調整基金の積立てを考えていかなければならないタイミングに来ておるのかなというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 休憩いたします。

休憩 13時50分

再開 13時52分

○議長（上辻 亨君） 再開いたします。

ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わりたいと思います。

◎ 散 会

○議長（上辻 亨君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、16日の本会議については休会といたします。最終日3月18日は午前9時半から開催の予定で、冒頭一般質問から行いますので、よろしく申し上げます。本日はお疲れさまでした。

散会 13時53分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員